

平成 29 年度

かつしかセンター

事業計画

社会福祉法人原町成年寮

- 1) 利用者支援 ①262名の利用者（平成29年4月1日現在）それぞれの支援に時間を掛けられる様、必要人員の配置等体制作りを行う。  
居室清掃に特に介入が必要な利用者については、今年度も引き続き清掃担当職員による週一回の清掃と、年数回のチーム単位での大掃除を行う。  
余暇についてはドロップ等の活用に加え、利用者それぞれの事情やニーズに応じて、チームやユニット単位での企画も実施して行く。
- ②利用者数の多さや高齢化から、医療面での支援もその重要度を増している。医療機関とも連携を図り、利用者の健康管理を行う。  
高齢者や持病を持つ利用者の今後の生活について、その人にとってより良い生活を続けて貰うにはどうすべきか、部分的な住居改修等も含めて検討し、取り組んで行く。  
医療や介護等、職員のみでの対応が困難なケースについては、外部サービスも積極的に活用していく。
- ③食事については、味付けや量等改善が必要な場合に適切な対処が行える様、ユニット担当職員が利用者と食事を共にする形を継続する。
- ④一般就労をしている利用者が働き続けられる様、就労担当が中心となって支援を行う。
- ⑤福祉就労をしている利用者について、通所先と連絡を密にし、連携を図る。
- 2) GHつばさ廃止と宿直業務の負担軽減  
①今年度中に法人内他GHに順次移動予定だが全員の吸収が困難な場合は、新たな宿直寮の立ち上げも視野に入れる。その場合は、介助度の高い利用者の利用が見込まれるのである程度の環境整備が必要だが、最小限で済む物件を検討する。（本格的な高齢者向けGH立ち上げは法人全体での取り組みとなるし時間も要する為。）  
②管理宿直や男女2名体制での宿直、早出の配置等を行い、宿直業務の負担軽減を図る。
- 3) 会議  
①かつしかセンター全体会議 月一回開催  
②かつしかセンターサービス管理責任者会議 月一回開催  
③チーム会議 月二回開催  
④防災委員会（サザンクロスかつしかと合同） 必要に応じて
- 4) 研修  
利用者支援に活かせる様、外部研修への参加を計画的に実施する。  
年4回程度、内部研修を行う。
- 5) その他  
①利用者の権利擁護・虐待防止の徹底。必要に応じて内部又は外部の研修も実施する。  
②主として火災を想定した避難訓練等を、今年度も各ユニット年間2回以上実施する。